

## 全国に活躍する 利賀村人交流

10月21日、富山県南部の越中五箇山で、「第3回ふるさと母村利賀村に集う日」が開催されました。

全国から約四百名の旧利賀村出身者の子孫たちが集い、ふるさと晩餐会や「結」の原点といわれる相互扶助行事「山祭り」で綱引き神事などを行いました。行方市からも利賀村出身者会代表の野原小右二さん(手賀)らが出席され交流を深めました。

行方地方には、江戸時代の文化2年(1805年)に手賀地区に入植した皆さんほか、北陸から多くの移民がありました。



11月23日、麻生カントリークラブのチャリティゴルフの際に、同クラブより行方市福祉作業所「ひかり工房」に耕耘機が寄贈されました。

「ひかり工房」は畑仕事にはほしいと思いつながら、なかなか購入することができなかった矢先のビックプレゼントに感動した様子。

また、贈呈式には、作業生手作りの陶芸のバザーも行い、すべて完売しました。

## 麻生カントリークラブより 「耕耘機」を寄贈

## 春日神社の どぶろく祭り

青沼の春日神社において、恒例行事「どぶろく祭り」が11月23日開かれ、参拝者がどぶろくの味わいを楽しみました。

このどぶろく祭りは、平安時代の初期、奈良の春日神社から分祀した青沼の春日神社の建立を祝って始められた五穀豊穡の祭りです。

今年(はなご)は波籠地区が当番を務め、どぶろく300リットルを仕込みました。参拝者からは「口当たりがよく、飲みやすい」と好評でした。



「ナイスハートフェスティバル2006」障害者の文化祭が、12月6日から12月11日まで県民文化センターにて開催され、作品の展示と歌やダンスの発表が行われました。

作品の部門では、行方市玉造作業所「りんりん」のメンバーが制作した押し花絵が、見事、茨城県知事賞の銀賞を受賞しました。

「りんりん」は、現在6名の研修生が、地域で自立するための訓練を行なっています。地域のボランティアの協力により、農作業や内職、高須崎公園の掃除、勾玉のキーホルダーの制作、押し花の作品制作など、様々な作業訓練に頑張っています。

## 「りんりん」が県知事賞の 銀賞を受賞